

2013年8月5日

各位

(一社)建設コンサルタント協会 近畿支部
維持管理研究委員会
委員長 本下 稔

維持管理研究委員会 中間報告会開催のお知らせ

維持管理への新しい対応（点検・補修・補強）

これまでの我が国の社会資本整備は、不足する社会資本を効率的に建設するために構築・運用されてきました。その結果、50年以上を経過したストックにも老朽化がみられるようになり、社会経済状況の変化と財政的に厳しい条件下で、国力を維持していくためには、まだまだ不足する社会資本の整備ももちろんですが、現存する社会資本の効果的な運用・維持管理が極めて重要となっています。近年、国土交通省をはじめ、地方自治体等でも、計画的な維持管理を目的としたアセットマネジメントの導入に積極的に取り組んでいます。

しかしながら、アセットマネジメントは幅広い概念であり、維持管理、補修・補強、会計、事後評価などを包含するとはいえ、基本となるのは現場での維持管理です。また、アセットマネジメントを全て網羅するためには多くの要素技術の開発が必要となります。その実現に向けて各維持管理機関が精力的に活動していますが、予算、人員、体制、データ不足などの課題があることも事実です。一方、環境や防災の観点からみた維持管理の考え方も今後は重要になってきています。

以上、このような背景から、コンサルタントとして、維持管理に対して今後取り組まなければならない課題を施設管理者と共同で抽出し、環境やエコロジー、防災などのより幅広い視点からの議論を行い、施設管理者に役立てて頂ける基礎資料を作成すると共に、維持管理技術の向上に寄与できる成果を目指していくことを目的として、平成22年4月より、“公共土木施設の維持管理に関する研究委員会”が発足し、主に施設管理者側のニーズに沿った形での成果、すなわち、補修・補強設計マニュアル（案）補修・補強工法選定資料、補修・補強に関する標準歩掛作成などを提供してきました。これで施設管理者側のニーズに応える形は一段落したと考え、その次の展開、すなわち、アセットマネジメントの更なる普及（会計・便益など）、長寿命化修繕計画における仮定条件の妥当性検証などに主眼をおいて、維持管理技術の更なる向上に寄与できる成果を目指していくことを目的とし、平成24年11月より、「維持管理研究委員会」が2年間の予定で発足・活動しております。この度、中間報告会を下記のとおり開催することになりました。今後の維持管理業務の増加やアセットマネジメントの普及など、建設コンサルタント業務に与える影響は大であります。本報告会では、施設管理者の視点・ニーズおよび産・官・学の共同の可能性も踏まえて、建設コンサルタントとして維持管理に関する新しい技術を社会に提供していくことを目的としており、有意義な内容となっております。皆様のご参加をお願いいたします。

記

1. 主催：一般社団法人建設コンサルタント協会 近畿支部
2. 開催日時：2013年9月12日（木） 9：30～15：10
3. 開催場所：大阪科学技術センター 8F・大ホール（〒550-0004 大阪市西区鞆本町1-8-4）
地下鉄四つ橋線・・・「本町」駅下車28番出口より北へ徒歩3分
Tel.06-6443-5324, URL <http://ostec.or.jp/pln/map.html>

